

平成30年度
文化振興課所管事業

背景・事業概要

- 群馬交響楽団は、1945(昭和20)年に「高崎市民オーケストラ」として設立された地方オーケストラの草分けであり、定期演奏会や移動音楽教室などの公演を通じ、県民にオーケストラ鑑賞の機会を提供し、子どもたちの心の豊かさを育み、県民のオーケストラとして地域に根付いた活動を継続しています。
- また、東京公演や県外公演を通じて、本県のイメージアップも担ってきました。
- 平成29年度は定期演奏会の入場者数が14,000人を超え、28年度に引き続き高水準を維持するなど、県民の注目を集めています。一方で、公益財団法人として一層の経営安定化が求められていることから、運営費及び各種事業に対する補助を行い、「県民のオーケストラ」である群響の活動を支援します。

具体的な取り組み

【予算額313,923千円】

1 運営費等に対する支援

運営及び経営安定化のための補助金

- ①運営費補助 (162,775千円)
- ②財務基盤強化 (10,000千円)
- ③退職金積立 (17,300千円) 等

3 各種演奏会への補助

県民への鑑賞機会の提供と、県外公演による県のイメージアップを支援

- ①東京定期演奏会 (3,500千円)
- ②ぐんま県民コンサート(3,000千円) 等

2 移動音楽教室等に対する支援

幼児から高校生までを対象に、本物の音楽に触れる演奏会等を実施

- ①幼児移動音楽教室 (4,250千円)
- ②移動音楽教室 (39,245千円)
- ③高校音楽教室 (24,482千円)
- ④楽器セミナー (3,888千円)
- ⑤移動音教バス更新 (35,603千円)



群響・定期演奏会



幼児移動音楽教室

背景・事業概要

- 平成31年度の高崎芸術劇場、32年度のGメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）のオープンに向けて、これらの文化施設はもとより、富岡製糸場、群馬交響楽団等、群馬県ならではの有形無形の文化資源を活用したコンテンツの創造と充実を図る取組を実施します。
- 文化資源のこれまでにない組み合わせによる活用を通じて、文化による県の魅力発信と新施設のアピールにつなげていきます。

具体的な取り組み

【予算額30,000千円】

1 世界遺産劇場

世界遺産の構成資産である富岡製糸場(東繭倉庫)において、一流の音楽アーティストによるスペシャルライブと群響アンサンブルの共演を行い、本県が誇る世界遺産の魅力発信及び交流人口の増加につなげていきます。

2 群響スペシャルコンサート

群馬音楽センターにおいて、本県にゆかりのあるアーティスト(J-POPあるいはロックなど幅広い分野から選択)と群響を行い、群響を活用した文化の発信を行うことで、本県の魅力発信を図ります。

3 群馬のものがたり(明治150年)

明治維新から150年を迎えることを受け、臨江閣別館(前橋市)で、県産食材の軽食を楽しみながら、群響アンサンブルなどによる演奏をバックに、群馬ゆかりの文学の朗読を聞く、群馬のものがたりを開催し、本県の文化の魅力を発信します。



群馬交響楽団

×



富岡製糸場

=



臨江閣別館



新たな魅力の発信
賑わいの創出

背景・事業概要

- 群馬県民の記憶に深く刻まれた「上毛かるた」を活用し、郷土の素晴らしさを見つめ直し、郷土ぐんまへの誇りと愛着を醸成するとともに、県外へも本県の文化的魅力を紹介します。
- 具体的には、上毛かるたを活用しながら本県の魅力を県内外へ発信するために、上毛かるたの発行及び関連書籍（副読本・ガイドマップ）の有償頒布や、歴史ある「上毛かるた」競技県大会の継続などを行います。

具体的な取り組み

【予算額10,890千円】

- 1 上毛かるたの発行・頒布(予算額8,278千円)**
平成25年10月28日〔群馬県民の日〕に権利譲渡を受けた上毛かるたに込められた思いを引き継ぎ、上毛かるたを通じて歴史と先人たちの思いを子どもたちをはじめ広く県民に知ってもらえるよう努めます。
平成30年度は、上毛かるた14,000部を発行し、県内外の書店等に配本します。
- 2 副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』の頒布(予算額236千円)**
上毛かるた44枚の絵札で取り上げられた事象を分かりやすく解説するとともに、制作された当時の状況やその事象にまつわる現在の姿等を紹介する副読本（改訂版）を、頒布します。（県内外の書店に配本）
- 3 ガイドマップ『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』の頒布(予算額260千円)**
上毛かるた44枚の各絵札で取り上げられている地域へのアクセス方法を紹介し、ぐんまの文化紹介とあわせて観光PRに活用するガイドマップの改訂版を発行します。（県内外の書店に配本）
- 4 「上毛かるた」競技県大会の開催(予算額500千円)**
県・県教育委員会・子ども会育成連合会の三者が主催する「上毛かるた」競技県大会を継続して開催します。
- 5 英語版上毛かるた作成(予算額1,616千円)**

平成31年度の英語版上毛かるた発行を目指し、英語版上毛かるたの作成について検討するための編集会議を開催します。



上毛かるた



ガイドマップ



副読本

背景・事業概要

○東国文化の「すごさ」や「ストーリー」をわかりやすく発信

次代を担う子供たちをはじめ、県民が本県の貴重な歴史文化遺産の価値を再認識してもらうことで、郷土への誇りと愛着を育むとともに、東国文化の認知度の向上を図ります。

○観光部局等との連携強化によるイメージアップと観光誘客の促進

ユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑をはじめ、本県の歴史文化遺産の価値や魅力を県内外に発信することで、「東国文化＝群馬」のイメージを全国に発信・定着させ、本県のイメージアップと観光誘客をさらに進めます。

具体的な取り組み

〔予算額 32,191千円〕

● 東国文化周知

【新規4事業】

〔予算額 27,191千円〕

◆ 黒井峯遺跡AR制作 (7,560千円)

最新技術を駆使して、当時の村の様子等を再現し、多くの人に遺跡のすごさを実感してもらう。



◆ 東国文化ガイドブック

『大人の歴史旅～群馬の東国文化～』

(3,000千円)

東国文化のストーリーを、キーワードやエリア別にわかりやすくまとめ、学習や観光ガイドとして活用してもらう。

◆ 群馬HANI-1 (はにわん)

県内出土埴輪の人気投票を実施。郷土の歴史文化への興味や学習につなげる。



グランプリ

(2,500千円)

◆ 群馬古墳フェスタ2018

(5,000千円)

畿内の専門家等を招いたシンポジウムと、白石古墳群(藤岡市)を会場にイベントを開催し、「古墳王国群馬」を全国に発信する。



◆ 東国文化副読本の活用推進

- ・中学1年生全員に配布・教師用マニュアル書の配布
- ・モデル授業の実施・夏休み自由研究の募集
- ・一般販売ほか

〔予算額 3,652千円〕



◆ その他の主な事業

- ・東国文化体験キャンプ・東国文化ゆかりの地巡り(スタンプラリー)ほか

〔予算額 5,479千円〕

● 「世界の記憶」上野三碑周知

〔予算額 5,000千円〕

◆ 上野三碑発信事業 (1,700千円)

- ・上野三碑展の開催、スタンプラリー、ラッピング電車の運行、のぼり旗の掲示

◆ 登録1周年記念イベント (2,000千円)

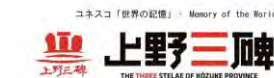
- ・登録1周年を記念したイベントの開催

◆ 登録記録集の発行 (1,270千円)

- ・ユネスコ「世界の記憶」登録までの経緯をまとめた記録集の作成

◆ 協議会の運営 (30千円)

- ・高崎市や県民、民間企業、研究者等と一体となった普及活動を推進



5 県民芸術祭委託

背景・事業概要

- 県民芸術祭は、昭和56年に決議された「文化県群馬」宣言及び平成24年に制定した「群馬県文化基本条例」の理念に則り、多くの県民が芸術文化活動に積極的に参加できるよう支援するとともに、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、個性豊かな県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典です。
- 本県の文化を支える担い手を育成するため、県文学賞選奨や県展（美術、書道、写真、華道、茶道の5部門）、ぐんま新人演奏会などを開催し、県民参加の芸術文化創作活動の場を提供します。
- 伝統文化の保存・継承・発展、後継者育成と普及を図るため、ぐんま子ども歌舞伎公演や小中学校伝統芸能教室等の事業を実施します。
- 漫画、アニメーションなどのメディア芸術の振興を図るGUNMAマンガ・アニメフェスタを桐生シルクホールで開催します。

具体的な取り組み

【予算額47,300千円】

- 群馬県文学賞、県展、山崎種二特別賞など、県民芸術祭事業を（公財）群馬県教育文化事業団に委託して実施します。
- GUNMAマンガ・アニメフェスタを開催し、メディア芸術の振興を図ります。

（内訳）

- ・群馬県文学賞選奨
- ・群馬県展（5部門）
- ・県民音楽のひろば
- ・小中学校伝統芸能教室
- ・公開放送番組招聘
- ・山崎種二記念特別賞
- ・子ども歌舞伎公演準備
- ・GUNMAマンガ・アニメフェスタ
- ・子どもワークショップ「はじめての文化・芸術ふれあい教室」
- ・地域文化フェスティバル
- ・参加団体会場費補助
- ・県民芸術祭企画運営
- ・群響企画コンサート
- ・グリーンコンサート
- ・ぐんま新人演奏会
- ・伝統歌舞伎の祭典



小中学校伝統芸能教室



GUNMA マンガ・アニメフェスタ



6 県立文化施設の計画的整備

現状・課題

○県立文化施設〔美術館(2)・博物館(3)・文化ホール(2)〕は経年劣化が進行しており、施設の長寿命化を視野に、安全性確保を優先しながら計画的な改修が必要です。

〔群馬県民会館〕○築後46年を経過し、建物・設備の老朽化が進行しています。

○震度6以上の地震があった場合、「館内の一部で倒壊・崩壊する危険性がある」という耐震診断結果であり、吊り天井の耐震性に建築基準法の新基準を満たしていません。

○駐車スペースの拡充に向けた強い要望があります。

〔館林美術館〕○空調設備等について開館以来15年間継続使用しており、老朽化が進行しています。

○設備の更新(改修)を行うにあたり、E S C O事業による実施を予定しています。

具体的な取り組み

群馬県民会館



〔対応方針〕

- ・ 県域的な文化事業や担い手育成の中核的施設としての役割を、引き続き、担っていくため、平成32～33年度に大規模改修を行い、長寿命化を図ります。
- ・ 具体的な将来構想と駐車スペース確保に向けた検討を行います。

(予算額) 108,590千円
(内容) 大規模改修の実施設計

その他の施設

○自然史博物館

(実施内容) 動植物の標本を作製するための大型凍結乾燥機を更新

(予算額) 12,700千円

館林美術館

〔対応方針〕

- ・ 空調設備、照明設備の一部について、経費の節減と省エネルギー効率を高めるため、E S C O (エスコ) 事業を取り入れて実施します。

※E S C O事業：省エネルギー改修にかかるすべての経費を、光熱水費の削減分で賄う事業。改修工事の内容、設計、工事管理、改修後の維持管理等をE S C O事業者が実施する。

〔今後のスケジュール〕

- ・ 平成30年 5月 第2回定例会において方針説明
- ・ 〃 6月 事業者の公募開始
- ・ 〃 8月 提案内容の審査・事業費等の検討
- ・ 〃 10月 第3回定例会において事業規模・内容説明
- ・ 平成31年 3月 予算審議 債務負担の承認
- ・ 〃 8月 E S C O事業契約締結
- ・ 〃 12月～改修工事の実施
- ・ 平成32年 4月 E S C Oサービス開始

7 文化施設の運営(1)

背景・事業概要

- 県では、県民の皆様に優れた本県の芸術や文化の鑑賞の機会を提供するため、7つの文化施設を運営しています。
- 平成29年度の美術館・博物館の入館者数はおよそ51万人となっています。

具体的な取り組み

○美術館・博物館の運営について

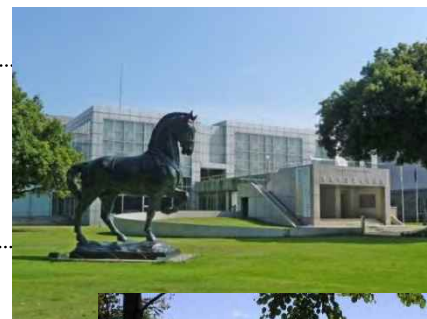
県民の目線に立った運営を進め、魅力的な企画展を開催するとともに、教育普及事業の充実を図ります。

近代美術館

(予算額223,913千円)

本県の中核的美術館として、近現代の作品を中心に優れた作品を紹介します。

- (H30企画展示)・「生誕150年 湯浅一郎」
- ・「ウィリアム・モリスと英国の壁紙展 -美しい生活をもとめて-」
- ・「-世紀末ベル・エポックに咲いた花- サラ・ベルナルルの世界展」
- ・「群馬青年ビエンナーレ2019」



館林美術館

(予算額174,481千円)

「自然と人間」をテーマに、地域に根ざした美術館として、企画展やコレクション展を開催します。

- (H30企画展示)・「アート遊覧紀行 -自然と人間をめぐる-」
- ・「デンマーク・デザイン」
- ・「板橋区立美術館コレクション 1920s-1950s」
- ・「アール・デコと異境への眼差し」



歴史博物館

(予算額200,932千円)

東国文化をはじめ、本県の特徴ある歴史を紹介する博物館として、故郷への愛着と誇りを育む展示を行います。

- (H30企画展示)・「織田信長と上野国」
- ・「すごいぞ！江戸の科学 -時代を動かした地図・暦・和算のカー-」
- ・「上毛かるた(仮称)」
- ・「大新田氏展(仮称)」

＜公開承認施設に向けて＞

平成23年度の水滴染み事故により文化庁から取り消された公開承認施設について、再承認をめざし、館の適切な運営管理に努めています。



8 文化施設の運営(2)

具体的な取り組み

自然史博物館

(予算額254,406千円)

地球の生き立ちから生物の進化、本県の自然の現状と変遷について、展示を行います。

- (H30企画展示)
- ・「ぐんまちゃんめぐる利根川の旅」
 - ・「化石動物園 ー哺乳類3億年の歴史ー」
 - ・「人類進化700万年」
 - ・「谷川連峰の自然史(仮称)」

<ESCO事業>

平成25年度に更新した省エネ型空調設備等により、平成26年度から事業の運用を開始しています。



土屋文明記念文学館

(予算額70,617千円)

本県ゆかりの文学者を中心に、文学に関する様々な資料を展示します。

(H30企画展示) ・「蛇崩の歌人・佐藤佐太郎(1909-1987)」

ーその珠玉の短歌を味わうー光とかがやきに溢れて」

- ・「金子みすゞ展(仮称)」
- ・「『南総里見八犬伝』と群馬(仮称)」
- ・「文学者の書(仮称)」

文化ホールについて

優れた文化芸術の創造、交流、発信の拠点として積極的に活用され、その機能を十分に発揮できるよう、施設・設備の管理運営を指定管理者制度により行います。
(予算額144,804千円)

○ 群馬県民会館 (ペイシア文化ホール)

指定管理者 : 群馬県民会館管理共同事業体
期 間 : 平成28年度~32年度

○ 自然史博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)

指定管理者 : 富岡市
期 間 : 平成29年度~31年度



9 伝統文化継承事業

背景・事業概要

- 失われつつある地域の伝統や文化を継承（復活）している、意欲ある団体への支援を行います。
- 具体的には、県内各地に伝わる伝統芸能や祭りなどを継承するための取り組みを、補助事業や委託事業により支援します。

具体的な取り組み

【予算額10,136千円】

1 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業（予算額8,102千円）※補助率2/3以内

補助メニュー	対象事業	上限額	件数(枠)
伝統文化映像記録	地域伝統文化を映像に記録	300千円	4件
伝承者養成	伝承者(後継者)の養成	200千円	30件
伝統文化継承活動	道具や衣装の整備等	200千円	
こども伝統文化継承	こども教室等での体験・習得	200千円	
伝統文化サポーター	継承を支えるサポート活動	200千円	4件



獅子舞用衣装の購入(伝統文化継承活動)



祇園囃子の練習会(こども伝統文化継承)

2 伝統文化継承事業委託（予算額2,034千円）

(公財)群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識や人脈を活かした、伝統文化継承に関する具体的支援を実施します。

- ①ぐんまの地域文化マップ運営、②伝統文化継承委員会、③県内伝統文化の調査、④伝統文化継承モデル事業（伝統芸能字幕付公演等）の実施

10 文化づくり支援事業

背景・事業概要

- 「群馬の文化」形成に資する、地域での多様で創造性豊かな活動を支援します。
- 市町村、NPO法人、民間団体が行う文化活動への補助を実施します。
- 第三者機関による補助事業の事前・事後評価と、事業のコーディネートを行います。

具体的な取り組み

【予算額9,070千円】

1 「群馬の文化」支援事業 (予算額 8,674千円) ※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額
文化力向上事業	群馬の文化を元気にする新たな取組等を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)・NPO法人・民間団体	50万円
次世代育成事業	次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる取組を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)・NPO法人・民間団体	20万円
文化資産発掘・活用事業	地域の文化資産を活かした地域振興に繋がる事業を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)	100万円



オペラ「道化師」公演(文化力向上事業)



榛名湖ミュージックフェスティバル(文化力向上事業)

2 文化づくり支援事業・魅せる群馬の文化応援事業評価委員会 (予算額 396千円)

第三者機関による補助事業に対する事前・事後の評価を実施します。また、採択した事業に対する助言等のコーディネートを行うなど、継続的な支援を実施します。

11 魅せる群馬の文化応援事業

文化振興課

背景・事業概要

- 地域の文化を磨き上げ、県内外に本県特有の文化の魅力を発信し、人を呼び込み、レガシーとなる継続性のある大規模な事業展開が見込める事業を2年間応援します。
- 書類審査を通過した申請者によるプレゼンテーションを実施し、第三者機関による評価で採択を決定します。

具体的な取り組み

【予算額10,000千円】

1 魅せる群馬の文化応援事業（予算額10,000千円）※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額
東国文化枠	「東国文化＝群馬」のイメージを定着させる東国文化に特化した事業	市町村(市町村が構成員となっている団体を含む)・NPO法人・文化団体	2か年度500万円
地域文化資産枠	地域の文化資産を磨き上げ、県内外に魅力を発信することで交流人口の増加につながる事業	市町村(市町村が構成員となっている団体を含む)・NPO法人・文化団体	2か年度500万円



例. 天平衣装行列の県外実施



例. 伊勢崎銘仙発表会(県内外)

- ### 2 文化づくり支援事業・魅せる群馬の文化応援事業評価委員会（※予算額は次頁参照）
- 書類審査を通過した申請者によるプレゼンテーションを実施し、第三者機関による評価を行い、採択を決定します。また、事後の評価も行います。